富三地区 だより

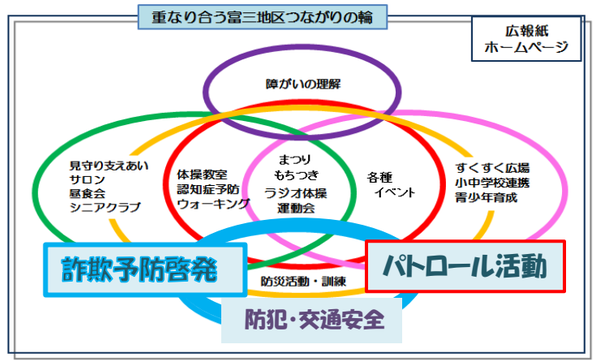
今号のトピックス
○犯罪から財産を守る「防犯」活動
振り込め詐欺や悪質商法について
○多世代が交流する活動について

第11号
2016年 12月
（平成 28年）

編集:発行 富岡第三地区（連合町内会 ／社会福祉協議会／民生児童委員協議会）
（富岡西部町内会・富岡北部町内会・富岡桜ヶ丘町内会・ひかりが丘町内会・西富岡町内会 ）

富三地区計画から

富三地区では、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる「まち」をつくります



キャッチフレーズ

誰もが安心して暮らせる「まち」にしよう

◆防犯・防災・交通安全に取り組む「まち」

今回のテーマは「安心して暮らす」ことに大きく関わる詐欺・消費生活被害の問題と各町内会の防犯活動について取りあげます

オレオレ詐欺の話しをすると「ウチにはそんなお金はないから大丈夫」と多くの方が笑いとばします。しかし「オレたち」は「巧妙な心理作戦」で庶民をダマし、心を追い詰めていきます。騙された人がおかしいのではなく、誰が被害にあってもおかしくない状況にあることを理解していただくために、身近な事例で「手口」を紹介します。

西富岡町内会の防犯活動

西富岡町内会では、毎日 3つの公園を輪番に集合場所として自由に参加者が集まりパトロールします。コースの選択は集合後決めています。町を観察し、多くの住民や下校時の子ども達と挨拶を交わすのも楽しみのひとつです。

11月「消費者被害未然防止講座」を開催しました。詐欺・消費生活被害防止について、紙芝居やクイズなどにより、とても分かりやすい講話でした。

富三地区計画から

富三地区では、多世代が交流し支えあう「まち」をつくります

◆多世代交流の活動として

富岡第三地区では、5町内会が協力して「みかん狩りとハイキングの集い」を実施しました。（ 平成28年11月27日 柴シーサイドファーム　310人が参加）

10時、富岡バスターミナルを出発
ウォーキングで柴シーサイドファームへ、到着後直ちに「みかん狩り」です。

たくさんみかんを食べ、
袋いっぱいのみかんを
持ち帰りました。

みかん狩りの後、お弁当昼食、そしてビンゴゲーム、子どもたちは大喜び。帰りは、行きとは異なるルートで能見台駅までウォーキングし解散、楽しい1日でした。

発行責任者	佐藤　祥生	（富岡第三地区連合町内会/社会福祉協議会 会長（北部町内会長））
編集者	大谷　郁二	（富岡第三地区社会福祉協議会　事務局長　（西富岡町内会））
編集者	浅野　秀子	（富岡第三地区民生委員児童委員協議会　会長　（西富岡町内会））
編集者	桒折　勝利	（富岡第三地区連合町内会／社会福祉協議会 顧問(西部町内会)）
編集者	佐藤　克彦	（ひかりが丘町内会　　民生児童委員）
編集者	杉浦　千鶴	（富岡第三地区 主任児童委員　（富岡桜ヶ丘町内会））

富三地区計画から

防犯パトロール等の防犯活動を多世代で行い、地域の防犯意識を深めます

各町内会では、消費者被害・オレオレ詐欺の被害回避のため、呼びかけや出前講座を行っていますが、参加者は限られています。今回の特集を読んで、巧妙なダマしの手口を知ってください。
あなたの大切な財産を守るために。

記載事例は、富三地区内で本当にあった事例です。いずれも紙一重で被害を免れました。同じような電話が、今日あなたのところにかかるかもしれません。**心がまえは大丈夫？**

事例① 同居の息子からの電話

オレ：母さん？心配かけるといけないから誰にも言わないでほしいんだけど、会社の小切手や携帯が入っているカバンを電車に忘れて、いま捜してもらっているんだ。手元に携帯が無いので見つかった場合は家に電話が入ると思うから、話しを聞いておいてくれる？ また電話するから。　　**～以後、５分おきに電話攻勢が続く～**

オレ：連絡あった？ なかったんだ↘　また電話するね。
オレ：連絡は？ 見つからないと大変なことになる。こまったなあ。
オレ：上司がお金を用意して半分は都合がついた。あと半分何とかならないかなあ？
オレ：いくらなら都合がつきそう？ 自分が取りに行くから。
オレ：やっぱり自分は行けないので、〇〇駅まで持ってきて。△△君が行くから。

おかしいと感じつつ、声も違うとわかっていても短時間に１０回以上繰り返しの電話に判断能力を失い、銀行に行こうと思ったとき、本当の息子が帰宅しました。

ひかりが丘町内会の防犯活動

ひかりが丘町内会では、全員が町内会館前に集まり、2組に分けて、駐在所警察官も加わり、パトロールします。隊員の65%は女性です。拍子木を打ち、不審者へのけん制、人々との挨拶、注意喚起が目的です。

事例② 前兆電話が入りました

オレ：近くの〇〇まで行くので久しぶりに寄りたいけど、明日は家にいる？
（翌日息子が来るのを楽しみに待つが、なかなか来ない。そして電話が・・）
オレ：誰にも言わないでくれる？ 友達からお金を借りて投資をしたけれど、友達の嫁さんにバレて、すぐに返してもらわないと離婚すると騒いでいる。投資はキャンセル出来ないし、何とかならないかなあ。

おかしいと感じ本当の息子に電話するがでない。事例①と同様、数分おきの電話を何度も受けているうちに、何とかしなければと思い始めてしまう。
でも半信半疑で本当の息子に電話をかけ続け、やっと電話が通じた。

事例③ 郵便局で阻止

事例①②と同様の電話を受け、お金を振り込むために郵便局へ。窓口で声をかけられ、局長室へ案内されました。しばらくして何人かの警察官が入ってきた時、初めて詐欺だったことに気付きました。

富岡桜ヶ丘町内会の防犯活動

富岡桜ヶ丘町内会では、原則3人が1つの班を編成し、毎日パトロールを行っています。パトロール時刻とコースは当日の3人が決めます。隊員の70%が女性、不審者の発見、町並みウォッチ、各住宅の外観見守りなど、女性目線も大切にしています。

【予防のためにできること】

◎日頃から子ども、親戚等との関係を密にしておく
◎電話の機能を活用する
　いつも留守番電話にしておく、非通知着信拒否
　録音装置の利用　等
◎多くの事例(手口)を知り、かしこくなること。

金沢警察署
045-782-0110
横浜市消費生活総合センター
045-845-6666

富岡北部町内会の防犯活動

富岡北部町内会では、警察官と共にパトロール、女性も多数参加します。毎月定例会に同警察官が加わり、各種の状況について説明を受けます。

【あやしい電話がかかったあとは】

◎すぐに留守番電話に設定して受話器を取らない
◎本当の息子に連絡して確認をする
◎被害がなくても、必ず警察に連絡する
　義理人情に厚い、
　自分をお人よしと思う人は要注意！

富岡西部町内会の防犯活動

富岡西部町内会では、いつものパトロールに加えて、毎月27日「交番の日」は、駐在所警察官の講話と合同パトロールです。常に町を清潔に保つため、ゴミ収集もパトロール活動の1つです。　7月は夏休み親子パトロール、8月は中学生との合同パトロールを行いました。

事例④ 悪質訪問販売がきた ！

チャイムが鳴ったので何となく玄関を開けてしまったAさんの目の前に、作業服を着た男性が２人、水質検査に来たという男性はずかずかと台所に上がり、水を汲み検査のふり、この水は良くないからと「浄水器」を勝手に設置、契約書にサインをせまりました。ひとりでがんばり、契約を拒否して何とか帰ってもらいましたが、長い時間とても怖い思いをしました。
注意点：必ずインターホンで対応し、玄関はむやみに開けない習慣をつけ、被害がなくても警察に報告しましょう。
Aさん周辺はその後もお巡りさんが見回りをしてくれるそうです。